

監督・競技者に対する注意事項

本大会は日本陸上競技連盟駅伝競走基準並びに本大会規程に基づき実施する。

1. 出場選手について

- (1) 正式オーダーは監督会議の受付時に所定の用紙で提出すること。
- (2) オーダー提出後の選手変更は、補員をその区間の交代として補充すること。各中継所でも受付の際に申し出ること。
- (3) 競技者は、主催者の用意したナンバーカードを胸・背につけること。

2. 選手の招集時刻、場所について

- (1) 第1区走者は、開会式30分前までに受付を完了し、「タスキ」を受け取ること。この際、ナンバーカードを提示すること。(受付時間を過ぎた場合は、棄権とみなす。)
- (2) 第1区走者は、スタート15分前に集合して出発係の指示に従い、コース順に並び待機すること。
- (3) 第1区走者の出発時のコースは、監督会議受付時に抽選により決定する。
- (4) 第2区以後の走者は、到着予定時刻30分前に各中継所で点呼を行いますので受付を完了して下さい。

3. 競技について

- (1) 車及び人による伴走を行うことはできない。伴走に類するまぎらわしい行為のあった場合は失格並びに来年度の出場は認めない場合がある。部外者による伴走も同様とする。
- (2) 走者は、原則として常時道路の左側端より1m以内の部分进行すること。
- (3) 第1区走者の出発の要領は次の通り。
出発の10分前、5分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前とアナウンスする。走者は10秒前のアナウンスと同時に「位置について」の合図でスタートラインに並びピストルの合図でスタートする。
- (4) 引継用の「タスキ」は主催者で用意し、受付時に渡す。色別は次の通り。
・中学男子(緑色) ・高校男子(黄色) ・一般男子の部(水色)
・中学女子(桃色) ・高校一般女子(赤色) ・繰上げ出発(白色)
- (5) 競技中「タスキ」は肩から斜め脇下へ掛けて走るものとし、肩に掛けない者は失格の対象とする。但し、中継所前後は手に持って走って良い。
- (6) 「タスキ」の引き継ぎは、中継所より進行20mの引き継ぎゾーンの中で行い、手から手へ確実に受け渡しすること。なお、「タスキ」を引き継ぐ選手は、競技時間帯になれば中継所付近に待機し、選手が近づいたら中継所に位置すること。
- (7) 中継所において「タスキ」を渡し終わった選手は、速やかに左側へ寄るか、走路外へ出ること。
- (8) 中継所において「タスキ」を引き継ぐ選手は、中継線より進行方向(前方)に位置しなければならない。
- (9) レース中に走者が不慮の事故の為、競技を続行出来ない場合には当該チームのその区間を無効とする。この場合、そのチームは審判長の指示に従い次区間走者から再び競技を続行することが出来る。出発の時間は、最後尾の走者と同時とする。この場合、総合記録は認めないが事故のあった区間以外の区間記録は認める。